



HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合
発行者 組織情宣部
2024年5月10日 No.764

「架空電線垂下の復旧対応時に関する申し入れ」を提出！

4月24日、申第20号「1月23日に発生した『新幹線電力設備故障』による大規模輸送障害に関する申し入れ」の団体交渉を行い、復旧に携わった作業員の感電受傷の原因と対策、電力設備故障の原因と対策など説明を行ってきました。特に、三大労災事故の撲滅は労使双方の共通認識であり、二度と同種事象を発生させないため、より作業員の「命」に焦点を当てた対策が求められます。

今回の事象は復旧作業の準備段階において感電受傷した事実が明らかになりました。経営側は対策の中に「やむを得ず垂下した架空電線の停電ができない場合の徹底事項」を定めていますが「現地で人の判断により、停電されていないにもかかわらずその場に入る」などの例外をつくっており、今事象の対策として疑義が生じていることから東日本ユニオンは5月10日、申第26号「架空電線垂下の復旧対応時に関する申し入れ」を経営側に提出しました。



死傷事故ゼロを目指し、労働者の「命」を守る安全対策を求めよう！

【申し入れ項目】

1. 架空電線垂下の復旧対応は、作業着手の準備段階における現場への移動も含めて線路内への立ち入りは「停電」を確認した後に行うこと。

現場作業員の「命」にかかわるような同事象を発生させてはならない！
死傷事故・三大労災事故ゼロを目指そう！